

平成31年度の重点事業を県に要望

☎政策財政課 ☎⑤6710



市では、来年度、市と県、国が連携して取り組むべき事業など、新規3件、継続13件、合わせて16件の重点事業について県に要望書を提出しました。

7月23日に行われた要望説明会では、小山田市長をはじめ市の関係部長などが県庁を訪れ、三村知事に対し、特に重要性の高い新規3件、継続2件の事業について、市長が直接協力を求めました。

新規 …新たに要望した事業

1 上北地区統合校における専門学科としての(仮称)観光情報科の設置について

☎ 新設が予定されている上北地区統合校に、観光に特化した専門学科(仮称)観光情報科を設置していただきたい。

県 中学生のニーズなどを踏まえながら慎重に対応する必要がある。特色ある教育活動の展開、また、人材育成に役立つよう取り組みたい。統合校の教育活動は、統合の対象となる高等学校の関係者などで構成する開設準備委員会を設置して検討していく。

2 放置遊覧船への対応について

☎ 十和田湖畔宇樽部の棧橋に係留されたまま老朽化が進んでいる放置遊覧船4隻を撤去していただきたい。

県 放置遊覧船の撤去は、所有者である企業組合の責任において適切に行われるべきであり、県では、撤去について引き続き粘り強く指導していくが、今後は、法的措置を含めて検討したい。

3 飼料用米などの転作作物に係る助成の維持・確保について

☎ 米の安定的な需給バランスを維持し、農家所得の安定と向上を図るため、飼料用米などの転作作物に係る助成の維持・確保について国に対し働きかけていただきたい。

県 県産米の価格水準を維持していくには、引き続き、需要に基づいた適切な生産調整を本県のみならず全国的に行う必要がある。飼料用米などの転作作物に対する水田活用の直接支払交付金の継続と交付水準の維持については、今後も、国に要請していく。

継続 …昨年度に引き続き要望している事業

1 地域高規格道路の整備について

☎ 八戸市から十和田市を經由し秋田県小坂町までを結ぶ区間について、県の広域道路整備基本計画への路線の組み入れと、地域高規格道路の指定を国に対して働きかけていただきたい。

県 地域高規格道路への新たな指定は、平成10年以降、全国的にも行われていないなど、ハードルは大変高いため、今後の課題とさせていただきたい。

2 奥入瀬溪流における公衆トイレの整備について

☎ 奥入瀬溪流石ヶ戸～子ノ口間の公衆トイレの新設、既設トイレの水洗化と十分な管理に取り組んでいただきたい。

県 トイレの新設については、市と協議・連携し、引き続き国に対し働きかけていきたい。玉簾公衆トイレは、国立公園特別保護地区にあり、電源設備の整備に多額の費用を要し、早急な対応が困難なため、悪臭の軽減を図るなど、しっかりと管理していきたい。

その他の継続要望事項

3	周産期医療関係医師・麻酔科医の確保について
4	サッカー等球技専用スタジアム(J2適合)の設置について
5	子ども医療費の無償化制度の創設について
6	八甲田登山道の整備について
7	十和田湖・奥入瀬溪流への冬季公共交通の確保について
8	主要地方道三沢十和田線の整備について
9	一般国道103号奥入瀬(青楓山)バイパスの整備について
10	一般国道102号バイパスの整備について
11	一般国道45号及び一般国道102号の整備について
12	主要地方道十和田三戸線の整備について
13	三沢空港利用促進対策の強化について

市長と知事のフリートーク

今年度は、空き家対策について、市長と知事が意見交換を行いました。

☎ 県では、移住促進に係る空き家の活用に取り組んでいるが、他県でも実施している危険な空き家の撤去費用を市町村へ補助することで、さらに対策が進むのではないのか。また、十和田湖畔休屋地区の空き家について早期に撤去していただくよう、国に強く申し入れていただきたい。

県 県は、空き家対策を重要な課題と認識し、市町村への技術的助言などの支援を行っている。また、空き家相談員を市町村に派遣するなど、移住につながる空き家活用の支援を行っている。撤去費用などの一部を補助する制度については、全国的な事例を研究していきたい。

休屋地区の空き家については、環境省において3軒撤去する方針が示されている。県は、現在空き家となっている休憩施設をモデル的にリフォームするという新たな活用策を探るなどの検討を進めている。